

# 荒船山山行報告

【山行日】2023年 11月 3(金) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 2,600円

【メンバー】 CL:鈴木、SL大西、  
大塚、小林、関、藤原ト、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P6:00＝内山峠

P7:45/8:05～鉢岩修験道場跡 8:50/9:00～

鱸岩 9:55/10:05～経塚山 10:35/10:50～鱸岩

11:30/12:00～鉢岩修験道場跡 12:45/12:55

～内山峠 P13:35/13:45＝道の駅「しもにた」

14:30/14:45＝岩舟支所 P16:00



去年、荒船山のリクエストがあり計画したが雨で中止になった。今年もリクエストがあり、紅葉に合わせて計画した。岩舟支所を6:00に出発し、北関東道から上信越道を進み下仁田ICで降りる。



国道245号線を西に進み、内山トンネルの手前を右に旧道に入り内山峠に着く。駐車場はほぼ満車だったが、トイレの脇が1台分空いていて、かろうじて止めることが出来た。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発する。はじめは登山道を緩やかに下り、山腹を巻くようにアップダウンを繰り返して進む。雑木林の中にカエデの紅葉が赤く色づいており、紅葉を楽しみながら登って行く。風も無く穏やかな登山日和に恵まれ、陽射しを受けた紅葉が目を楽しませてく

れる。皆さんも「ウワ～綺麗」と声を上げ、楽しそうに登っていた。やがて大きな岩壁に突き当たり、

鉢岩修験道場跡と呼ばれる平坦な場所に着く。修験道場の礎石とみられる石があり、岩壁の下のえぐれた場所には石積があり修験道場だった雰囲気漂っている。早速柿が出され、美味しくいただいた。ここからも紅葉を楽しみながらのアップダウンが続き、岩場の急登をクサリを頼りに登り切ると傾斜が緩やかになる。直ぐに平坦な登山道になり、東屋の手前を左に進むと展望が良い鱸岩に出る。鱸岩の展望台は北西が大きく開け、神津牧場や物見山、浅間山から妙義山、遠くは北アルプスや八ヶ岳など、雄大な展望が広がる。リンゴや菓子を食べ、展望を楽しんだら経塚山へ向かう。荒船山は軍艦のような特異な山容を持ち、山頂部が平坦なテーブルマウンテンである。



平坦な山頂高原の散策を楽しみ、星尾峠への道を右に分けると経塚山への急登が始まる。滑りや



すい急坂を10分程頑張ると、祠や石碑が立つ経塚山山頂に着く。山頂は狭く木々に覆われて展望はあまり良くないが、登った達成感は大い。ご褒美にかかるかんが出され、皆さん美味しそうに食べていた。ここから鱧岩まで戻るが、山頂からの急坂は慎重に下る。山頂高原はのんびり歩き、鱧岩でランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作りおにぎりやパン

を美味しくいただく。昼食が済んだら下山開始し、往路を戻って内山峠に向かう。下りの登山道も陽射しを受けた紅葉が素晴らしく、皆さんの歓声が何回も聞こえてきた。カメラやスマホに紅葉を収めながら下り、無事に内山峠の駐車場に戻った。



靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につき、途中道の駅「しもにた」に寄ってお買い物。しもにた葱を買いたかったがすべて売り切れ、楽しみにしていたしもにた葱をゲット出来なかった。

帰路も高速道路は順調に走り、予定より30分早く岩舟支所に帰着出来た。

